

【特集】

専スポ部員の 体当たり部活体験記

専スポ部員たちが、弓道、射撃、少林寺拳法、日本拳法、ボディビルの5部に一日体験入りし、各競技の魅力を体当たりでレポートした。

弓道部

弓道とは和弓を用いて矢を射て、28メートル先の的に当てる一連の動作から技術面、精神面の修練を積む武道で、体験してみると、奥深く、魅力的なスポーツである。生田キャンパス北グラウンド管理棟にある弓道場を訪れると、緊張感の漂う、感じたことのない静かな空気が流れていた。

今回は礼儀作法や弓を引く動作である「射法八節」を習い、本来は3カ月ほどかかる本物の弓を引く動作まで体験させていただいた。弓を引いてみると予想以上に強く、体勢を保つのがつらかったが、部員の射る姿を見ると、少しの迷いや気持ちが動作に影響し、体力面よりも精神面が重要であると感じた。

「個人練習が中心ですが、部員全員が一丸となって『正射』を心掛け、リーグ戦優勝、全国大会出場を目指しています」と内田悠介主将(文4・越谷北高)は話した。

(庄司 亮介・文1)



▲内田主将から射型の指導を受ける庄司(右)＝撮影・田口

日本拳法部

日本拳法は、突く・蹴る・投げるを基礎としているため、他の総合格闘技と区別がつきにくいかもしれない。しかし、頭に面、手にグローブ、体は道着を着た上にプロテクターと、なんとも重装備である。ここに大きな違いがある。危険度を抑えたことで、思い切った撃ち合い、投げや逆捕りなどの大技までも駆使でき、いわばより、実戦に近づけた格闘技だ。

実際に体験し、この格闘技の難しさに驚いた。確かに防具のおかげで衝撃は少ないが、想像以上に重く、視野も狭いので体が思うように動かず、すぐに息が上がってしまう。とても過酷なものに感じたが、ある部員は「厳しいからこそ、努力を重ねていくうちに感じられる成長はこの上ない快感であり、それを求めるために日本拳法をやっています」と話した。

(馬場 雄也・ネット情報1)



▲前拳を練習する馬場、右は大久保和徳主将＝撮影・松本

射撃部

静寂の中、聞こえるのは撃鉄と発砲音のみ。そんな緊張感ある空間を形成している。

銃の所持、使用には免許が必要なので、今回は実弾の代わりに的にレーザーを当て、判定する「ビームライフル」を使用。早速レクチャーを受けて撃たせていただいたが、ライフルは重く、持ち方も特殊なため、照準を固定するのが非常に難しく、見た目よりハードな競技だと知る。試合では銃を持ちやすくするための重い専用の上着を着用するのでさらに過酷さが増し、夏は暑さも加わる。



▲真剣にスコープをのぞく新海(右)＝撮影・加藤

「射撃は集中力がつきやすくなるのが一番の魅力です」と語るのは田中良和主将(法2・平塚江南高=写真真左)。「節度ある活動をし、楽しい部にしたい」と言う。

部を知ってもらうためにも、関東学生ライフル射撃選手権の予選突破が目標だ。

(新海 城生・経済3)

ボディビル部

ボディビル部は総合体育館地下のトレーニング室で練習を行い、ボディビルだけでなくパワーリフティングなどの大会にも出場している。

今回は一通りのメニューを体験させていただいたが、通常の練習では一度に全身を鍛えることはなく、月曜は足、火曜は胸というように一週間のサイクルで鍛える。

つらかったのはベンチプレス。20kgを上げるのも困難で、卒業生には220kgを持ち上げる選手もおり、「体を鍛える上で大切なことは毎日続けること。また、体を鍛えるためだけでなく、健康志向の学生も気軽に訪ねてほしい」と山崎貴之主将(商4・桐光学園高)。「どんなすごい選手でもテクニックだけで日本一になった人はいない」という話も聞き、基本となるウエイトトレーニングは大切だと感じた。



▲山崎主将(左)の指導で広背筋を鍛える渡辺=撮影・有馬

(渡辺 知美・文1)

少林寺拳法部

「少林寺拳法? ああ中国のね」と思われがちだが、日本人が開祖であることを知っていたらどうか。

「大学では自分の何かを変えたくて、思い切って入部した。全く、縁が無かったからこそ、少林寺拳法を選んだ。技が上達した時がうれしくて、今では毎日が楽しい。全日本学生大会での入賞が目標です」と益満隆行主務(文3・神代高)は話す。

少林寺拳法は力を使わずに相手を制す合理的な武術で、女性のための護身術でもある。600以上の技のうち、『鉤手』という技を教わった。サマになっていないが、体を動かし、声を張り上げる爽快感。額を滴る汗が心地よかった。もし、新しい発見をしたい、殻を破りたいのなら、生田キャンパス第1体育館に足を運んではどうだろうか? 自分を変えてくれる何かがあるのだから。



▲大森智史さんから「鉤手」を習う久田(左)=撮影・荻野

(久田 照喬・商1)

専大スポーツ編集部

私たち、体育会情宣局では体育会各部の活躍を伝える「専大スポーツ」を月に1回発行しています。新たに新入部員5人を加え、活動しています。今回の特集企画を体験・執筆したのはすべて新入部員。未経験とは思えぬ完成度の高さに驚きつつ、パワーを感じる毎日です。

8月が終わると大学スポーツが最も盛りになる秋を迎えます。スポーツの現場に立ちたい、もっと近くで見たいと思ったらぜひ、「専スポ」の門をたたいてください。当編集部は誰でも入部OK。見学や相談など気軽に連絡してください。部室は第1学生自治会館2階。メールアドレスはsensupo@mail.goo.ne.jp



(編集長 田口 能成・経済3)

合宿日程

◇合気道部

9月9～15日(山梨県富士河口湖町)

◇アイスホッケー部

9月1～18日(北海道苫小牧市)

◇居合道部

8月23～28日(山梨県道志村)

◇弓道部

8月23～28日(栃木県那須高原)

◇剣道部

8月13～20日(岡山県総社市)

◇ゴルフ部

【男子】8月27～31日(栃木県那須郡)

【女子】9月12～14日(栃木県那須郡)

◇少林寺拳法部

8月27～31日(千葉県南房総市)

◇水泳部(水球)

9月14～18日(福岡県)

◇スピードスケート部

9月1～20日(カナダ・カルガリー市)

◇漕艇部

8月11～27日(神奈川県相模湖)

◇体操部

8月27日～9月1日(滋賀県)

◇テニス部

【男子】8月26～29日(伊勢原) 9月7～10日(静岡県伊東市)

【女子】8月23～26日(茨城県)

◇東洋伝拳法部

9月16～18日(静岡県伊東市)

◇日本拳法部

9月14～20日(福島県猪苗代町)

◇馬術部

9月3～9日(山梨県)

◇バスケットボール部

【男子】8月15～22日(愛知県名古屋市)

【女子】8月10～17日(秋田県秋田市)

◇ハンドボール部

8月22～24日(山梨県山中湖)

◇フェンシング部

8月27日～9月5日(秋田県秋田市)

◇ボウリング部

8月26～29日(神奈川県藤沢市)

◇ボクシング部

9月10～13日(埼玉県)

◇ラグビー部

8月14～29日(長野県菅平)

◇陸上競技部

8月14～26日(北海道別海町)

8月27日～9月1日(北海道新得町)

9月2～13日(長野県菅平)

◇レスリング部

9月1～20日(専大)

※8月中旬以降実施の主な日程のみ掲載。

野球部OB部長・監督 甲子園へ

高橋薫さん(栃木・文星芸大附属校)

北川良さん(石川・星陵高)

佐野心さん(静岡・常葉学園菊川高)

今夏の全国高校野球選手権大会に、野球部OBの3人が指導者として出場する。

高橋薫監督(昭54文)が文星芸大附属高校(栃木県代表)を、北川良監督(昭55文)が星稜高校(石川県代表)を、佐野心部長(平2商)が常葉学園菊川高(静岡県代表)を率い、頂点を目指す。